



平成 27 年 4 月 30 日

各 位

会 社 名 アサヒグループホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 泉谷 直木
(コード番号 2502 東証第 1 部)
問合せ先 広報部門ゼネラルマネジャー 爲定 一智
(TEL. 03-5608-5126)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 2 月 12 日の決算発表時に公表いたしました、平成 27 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日）の連結業績予想について下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想数値の修正（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日）
(金額の単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|--------------------------------------|---------|--------|--------|--------|-------------|
| 前回発表予想 (A) | 850,000 | 43,000 | 39,500 | 18,500 | 39 円 99 銭 |
| 今回修正予想 (B) | 850,000 | 43,000 | 46,500 | 30,500 | 65 円 90 銭 |
| 増減額 (B-A) | 0 | 0 | 7,000 | 12,000 | |
| 増減率 (%) | 0.0 | 0.0 | 17.7 | 64.9 | |
| (ご参考) 前期実績 (平成 26 年 12 月期第 2 四半期) | 811,269 | 43,671 | 41,361 | 19,360 | 41 円 70 銭 |

2. 修正の理由

当第 1 四半期連結累計期間の連結業績では、当初の予想には織り込んでいない「伊藤忠商事の頂新（ケイマン）ホールディングにおける出資形態の変更等の取引に伴う利益」を持分法投資利益及び特別利益に計上しております。また豪州の出資に対する税制優遇スキームの活用及び税制改正に伴う税効果影響により法人税等が減少しております。それらを踏まえ、連結業績が当初の予想を上回る見通しとなったことから、当第 2 四半期累計期間の連結業績予想を修正いたします。

なお、通期の連結業績につきましては、2 月 12 日に公表した業績予想を修正しておりません。最盛期の酒類・飲料の販売動向などを見極める必要があることに加えて、平成 28 年度にスタートする次期中期経営計画に合わせて検討している I F R S（国際会計基準）導入を見据え、より一層の資産効率化及びキャッシュフローの最大化を目指した取り組みなどを検討していくため、現時点では当初の予想を据え置いております。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上